

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	5	B	20122023	上村侑大

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

APIを使ったアプリやゲームが作ったけど「動きませんでした、完成しませんでした」は評価に値しません。単位取得は、きちんと動くものが評価対象です。APIを使うこと、そしてプログラミングは1年生からの講義で学ぶことをすべて活用すれば実現できるはずです。

設問(1)

この科目で学んだ内容を第3者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

自分はこの授業でAPIは、プログラミングの世界で異なるプログラム同士が情報をやり取りするための取手や扉のようなものであり、その扉を通じて、プログラム同士がコミュニケーションをとり、情報を交換が可能なものだと学んだ。APIがあることで、異なるプログラムが情報を共有でき、新しい機能やデータを利用できるようになる。これによって、さまざまなプログラムが連携して、より豊かな機能やサービスが提供されることを今回の授業を通して学ぶことができたと感じる。また、レポート3であった読み物で、技術者ではなく、経営者目線で物事を捉えることは自分になかった。そのため、新たな視点を得ることができたため、今後は技術系の本だけではなく、こういった経営者からの視点の本も見てみたいと感じた。

設問(2)

レポート(4)をもとに、API連携作成またはAPIを用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

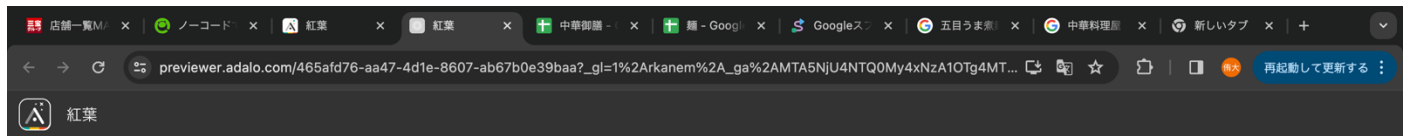
名称

紅葉

概要(作ったものの説明)

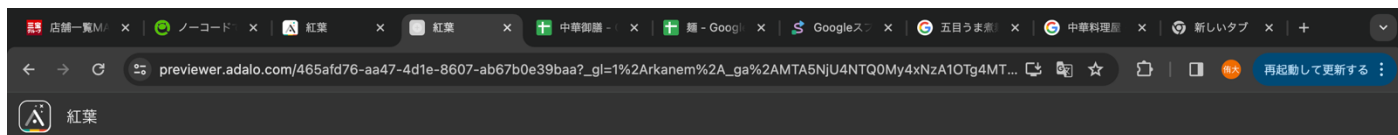
本サービスはGoogleスプレッドシートをもとにSSS APIでAPI URLを発行し、ノーコードツールAdaloと連携をし自分が働いているアルバイト先の中華料理店のメニュー一覧表のデータベースをアプリ上で見ることができるものである。

サービス説明(動作がわかるように画面を交えて説明すること)



まずこれが最初の画面です。今回はプロトタイプのため、メニューを本来あるものから、“中華御膳”と“麵”の2種類に絞って作成しました。

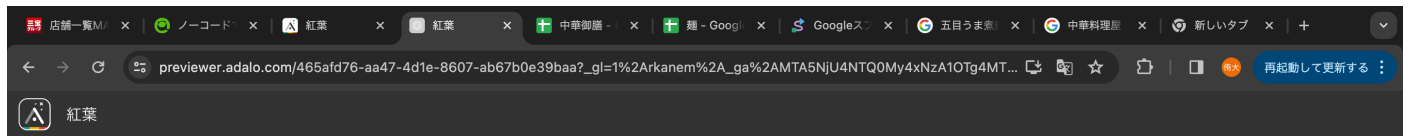
最初の画面でお客様が食べたい料理の種類を選んでもらいます



次にこれが実際のメニュー画面です

料理名と値段が一目でわかるようになっています。

右上の矢印ボタンを押すと“麵”のメニュー画面へと移動します



こっちが“麵”のメニュー画面です

左上の矢印を押すとさっきの“中華御膳”のメニュー画面に戻ります

レポート(4)の記載内容の実現状況（原則 100%となること）

すべて実装済みであり、動作確認済みである